

新商品

検証!!
check!

ムーンライトキャピタル

絶対収益を追求「アマテラス」

2月2日に、ムーンライトキャピタルが、「ムーンライト・エイドスファンド（愛称：アマテラス）」（追加型／国内／株式／特殊型）を設定した。同社初の公募ファンド。販売会社は、イニシア・スター証券。このファンドの投資対象は、国債・地方債・社債等の短期公社債等を、原則として50%以上の高位に保ち、残りの資金を、株式・日経225先物・同オポジションで運用する。短期公社債等の「安定運用」とともに、「コナイトレーディング運用」を行い、資金効率を高め、持ち越しのリスクを低減し、上げ相場・下げ相場の両局面で収益チャンス逃さない。加えて、「アルゴリズム運用」を導入し、同社はこのファンドのエンジンである「エイドス・モデル」を2005年に開発。日経225先物・同オポジションで積極運用する部分を、過去約20年間の膨大なデータを駆使し、18種類の運用システム（統計分析による短期取引、システムトレーディング、イベントドリブン、裁定取引等）から、毎日、最適な3つの運用システムをピックアップし、その日の相場に最も適した組み合わせで運用を行い、絶対収益を目指す。さらに、円建て運用なので、為替リスクがない。申込手数料・解約手数料ともにゼロ円。随時解約可能で、5営業日後に換金可能。同社代表取締役社長の竹村尚子氏は、「これからは、『リスク低減型ファンド』が求められる時代が来ると予想していました。当社が機関投資家向けに運用している同ファンドでは、リーマン・ショック時でも、パフォーマンスはプラス。昨年6月に投信免許を取得し、個人投資家向け投信の設定ができるようになりました。短期売買なのでリスクにさらされる時間が短く、1日の終わりにキャッシュポジションを高め、解約に対応しやすい商品です」と語る。昨年12月24日から2月1日までの当初募集期間では、約3億円の資金が集まった。現在、個人投資家向け新ファンドを2本開発中。今後は顧客層と商品数の拡大を目指す。（1）